

出 会 い の 森

玉津小学校便り No.12

(令和4年3月3日発行)

玉津小学校

検 索

※ホームページもぜひご覧ください。

ちょうせん

挑 戦

(チャレンジ)

はにゅうゆうづるせんしゅ

かつやく

～羽生結弦選手の活躍より～

校長 坂元 裕則

花の便りが北上する季節になりました。保護者の皆さま、地域の皆さまにおかれましては、日頃より子どもたちへの心身の健康維持と励ましを続けていただき、心より感謝申しあげます。学校ではいよいよ卒業式や修了式など1年間を締めくくる時期に近づいてきました。子どもたちはまだまだ終息しないコロナ禍において、1年間のゴールに向かって元気いっぱい学校生活を送ることができています。



さて、2月4日に開幕した北京2022オリンピック冬季競技大会は約2週間の熱戦を終え、20日に幕を閉じたことはまだ私たちの記憶に新しいところです。日本は過去最多のメダル獲得数でありましたが、それ以上にオリンピックという大舞台で各国のアスリートたちが日頃から磨きに磨き抜いた「心・技・体」を全力で出しきる姿に私は大きな感動と勇気をもたらしたような気がします。特にフィギュアスケートの羽生結弦選手が印象に残っています。結果はオリンピック3連覇とはならず4位。後に彼はこう述べています。「どれだけ努力しても報われないこともある」、「皆さんが知っている羽生結弦は成功している時の姿。でも、自分の知っている羽生結弦は何度も失敗をくり返し、もがき苦しんでいる自分。だからこそ、成功するために人一倍努力を積んできた」。決して万全の状態ではなかったが、羽生選手は前人未到の挑戦技「4回転アクセル（4回転半ジャンプ）」に挑みました。回転不足で転倒したものの、あと、0、03秒くらい滞空時間があれば成功していたと専門家は述べ、国際スケート連盟は公認大会において世界で初めて4回転アクセルを認定しました。彼の挑戦は成功こそしませんでした。その演技にかける熱い思いは多くの人々の目に焼き付いたのではないのでしょうか。まさしく挑戦を貫く姿勢が彼の真骨頂であり、見る者に大きな感動を与えたように感じました。

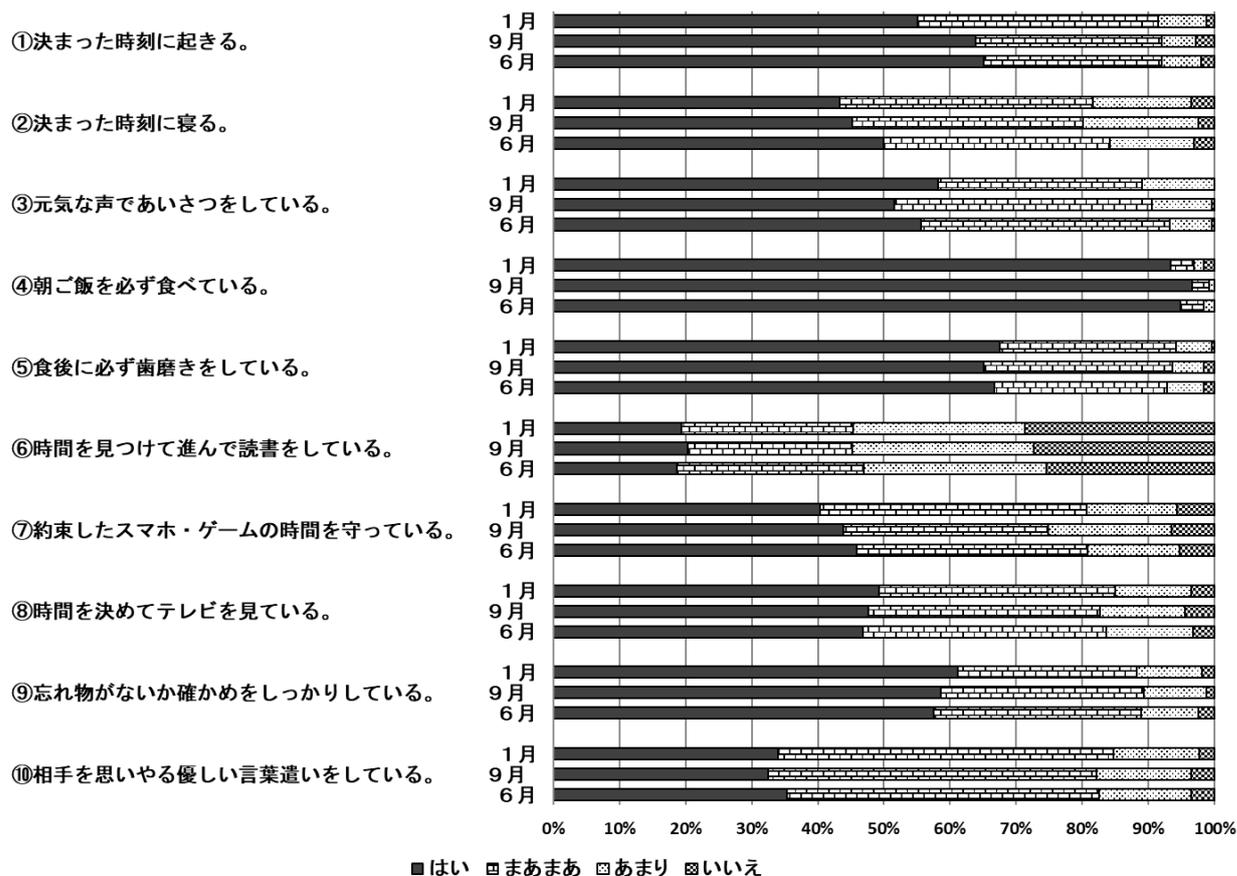
学校では卒業シーズンを迎えます。卒業生は6年間の思い出を胸にこの学び舎を巣立っていくことでしょう。卒業生と在校生の心温かい交流もあと数日。コロナ禍の影響はまだまだ続きますが、「距離は離れても、心は近くに」を大切に残りの時間を有意義なものにしてほしいと願っています。また、新しい学年に向かって一歩踏み出す全ての子どもたちには、羽生結弦選手が見せた「挑戦（チャレンジ）」を見習い、失敗を恐れず、自分の夢や目標に向かって努力しチャレンジしてほしいものです。日々、自分が取り組んでいく過程を大切にしていきましょう。私もがんばります。



コロナ禍の大変な1年間でしたが、保護者の皆さま、地域の皆さま、関係団体の皆さまには本校の教育推進にご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

令和3年度 生活習慣見直しカード集計結果(全校)

(令和3年度比較)



1月17日(月)からの1週間の取組結果です。④の「朝ご飯を必ず食べている」の数値は年間を通じて大変良い結果となっており、保護者の皆様が朝食をきちんと準備してくださっていることがわかります。子どもたちは朝食でエネルギーを充電し、学習や活動にしっかりと取り組める状態で登校してきています。

③⑤⑧⑨については、子どもたちが1学期に比べ、少しずつ心がけていこうとしている様子が伺えます。保護者の皆様が子どもたちの生活をしっかりと支え、よりよい習慣づくりにつながるようはたらきかけてくださっているからだと思います。ありがとうございます。

【保護者コメントより(スマホ・ゲームの時間等について)】

- ゲームをする時間が長くなるので、約束の時間を守るように話し合いました。
- スマホ・ゲーム・テレビの時間を子どもたちと決めたことでその時間を守って過ごすことができました。
- ゲームをしてしまいがちなので、ゲームをする前に読書をするよう声をかけています。
- 動画を見る時間が長くなっているため、就寝前に読書をするように約束し、本への興味が持てるよう工夫しています。

玉津教育後援会よりご支援いただきました

玉津学区自治会で組織・運営していただいている「玉津教育後援会」より、本年度も数々のご支援をいただきました。ありがとうございます。主なものを紹介させていただきます。

- ファイルボックス(教室での教科書・ノート・ファイル等の保管用)
- 防災頭巾布代補助(玉津日赤奉仕団の皆様へ製作・寄贈いただいた防災頭巾の布代補助)
- 毛筆用太筆 50本 等